

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市 町 村 名 寝屋川市

実践研究校名 第六中学校

【公開授業】公開日：平成25年11月22日

対象学年：中学校第3学年

(教材・教科書名) Sunshine 3 (单元名) My Project 8 伝統文化を説明しよう	(本時の指導の目標) 伝統文化を紹介するスピーチ原稿を作成するための構造・内容を、例から分析することができる。
--	--

(本時の授業において工夫した点)

- NETとの会話や、発問を効果的に取り入れて、活動の必然性を高めた。
- 生徒が理解しやすいように、パワーポイントや英文カードなど視覚教材を用意した。
- 英語が苦手な生徒も積極的に授業に参加できるよう、活動や指示などに配慮した。
- 個人、ペア、全体での共有など、様々な活動形態を用いた。
- 聞き手に興味・関心を持ってもらうための工夫をする。

(授業後を終えた教員の感想)

- 生徒は全員がペアで協力しながら一生懸命に取り組んだ。
- 考える活動に重点をおいたため、英語を使った言語活動の時間が極めて少なかった。

【研究協議会】

(テーマ) ゴールを明確にした課題解決型授業	(指導・助言者) 関西外国語大学 教授 中嶋 洋一 氏
---------------------------	-----------------------------------

(研究協議会で出された意見)

- 活動形態の重要性【個→ペア→全体】
- マッピングやマンダラートを活用することで、スピーチ作成や英文作成の際に、情報を順序立てて整理できる。

(まとめ)

1. 様々な活動形態を取り入れることで、生徒が自主的に発言できた。
2. 英文の構造を考える際に、視覚教材を用いたことは有効的だった。
3. 英語を使った言語活動の時間がもっととれるよう工夫が必要だった。